

三鷹まなむすび講座「もっと三鷹の魅力をさぐる」

1. 取組の目的・全体像

- (1) 今回の取組メンバー：「三鷹市市民参加でまちづくり協議会」（愛称：マチコエ）の生涯学習グループの有志 8 名で企画。
- (2) 取組の背景：マチコエの活動の一環として生涯学習グループで実施したアンケートやワークショップの市民の声から、「三鷹に関連した学習講座および、三鷹の企業・大学等の学習講座に興味はあるが、開催と周知が十分ではない」ことが確認された。更に、「三鷹市内の会社や大学などから、仕事に関して話を聞きたい」と 90%の方が答えていた。この状況から、学習の活性化に繋げるために、地域性に着目した学習事業に取り組むことが重要と考えた。
- (3) 今回の取組の内容：上記の地域性に着目した取り組みでは、「市民と産学の連携による三鷹ならではの生涯学習」を政策テーマとして「生涯学習における課題解決に向けた政策」を提案した。この提案から、「三鷹が持つ知識の資源」（市内の企業・団体、学校等及びそこで活動する人）について学び合うための取組として講座を開催した。

2. 取組のポイント

本企画では、三鷹まなむすび講座「もっと三鷹の魅力をさぐる」をテーマとして、三鷹が持つ産学の地域の資源を学習に活用して、小中学生から社会人までを広く対象にして以下 4 種類の学習事業を実施した。

（※本企画名「まなむすび」とは「学ぶ」と、学ぶことを通じて「人と人を結ぶ」という意味で表現している。）

各種講座の概要と趣旨

講座 1	三鷹の企業から地域の歴史を学ぶ 三鷹市内の会社経営者から、市民活動にも参画してきた経験談を通じて、地元に対して興味を持ってもらう。
講座 2	三鷹の果樹園農家からキウイの生産を学ぶ 三鷹を代表する「キウイ」の栽培が始まってもうすぐ 50 年になる。栽培の始まりの頃の説明、試食などで、地域の農作物を学習する。
講座 3	三鷹のメーカーから防災技術について学ぶ 防災・災害について、三鷹市内の防災機器メーカーである能美防災(株)の工場の見学を通して、防災の知識を学習する。
講座 4	三鷹の大学から災害時の医療体制と、大規模災害に備える考え方を学ぶ 三鷹市を拠点とする杏林大学の救急救命士の講演と応急手当の実体験により、大規模災害への備えと対応について学習する。

各種講座の開催状況

	イベント概要	開催日	開催場所	参加人数 (募集・応募)	講師	スタッフ
講座 1	地域の歴史	2023/11/25	三鷹市公会堂 さんさん館	29名 募集 40名 応募 27名	文伸 川井様	7名
講座 2	三鷹のキウイ	2023/11/25	三鷹市公会堂 さんさん館	26名 募集 30名 応募 26名	島田果樹園 島田様	8名
講座 3	防災工場見学	2024/1/16	能美防災 三鷹工場	16名 募集 15名 応募 18名	能美防災 酒井様	6名
講座 4	地域の災害医療	2024/2/3	三鷹市公会堂 さんさん館	28名 募集 30名 応募 36名	杏林大学 宮野様	8名
				(合計) 延べ 99人		

講座 1：昭和 37 年(1962 年)創業の三鷹市内の印刷会社である文伸の会長の川井様より、会社創業の時期から三鷹の町の変遷についての講演を主体に写真などで説明を頂いた。

講座 2：三鷹市内の果樹園農家の島田様から三鷹のキウイの栽培が開始されてもうすぐ 50 年になる経緯、種類、栽培方法についての講演と、キウイとジャムなどの試食も行った。

講座 3：三鷹市内を拠点とする防災メーカーである能美防災が令和 4 年(2022 年)6 月に日本無線の跡地に移転して稼働しており建物の説明もあった。製品の役割と、工場見学を行い災害に必要な機器の製造過程を学習した。

講座 4：三鷹市内の杏林大学の宮野先生から三鷹市内での災害医療についての説明と、実際に災害時に取るべき行動等の説明を頂いた。今年の日元日には能登半島での地震もあったので、参加者の皆さんは熱心に聴講されていた。



講座 1 (文伸 川井様)



講座 2 (島田果樹園 島田様)



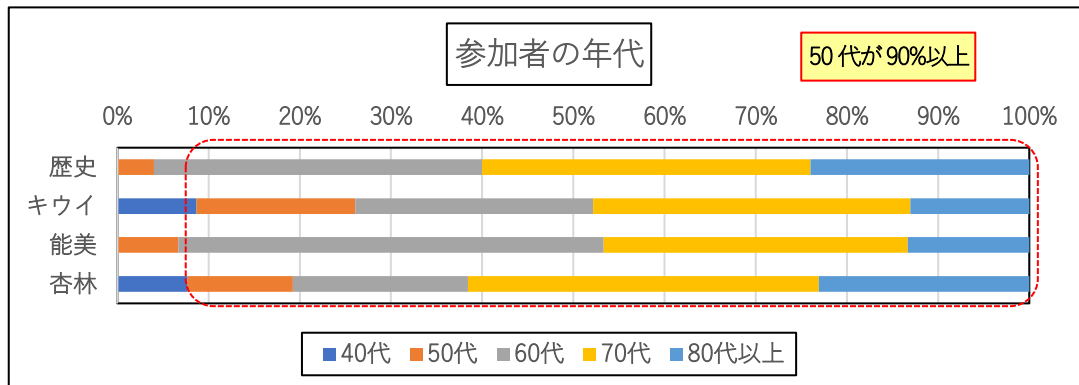
講座 3 (能美防災 酒井様)



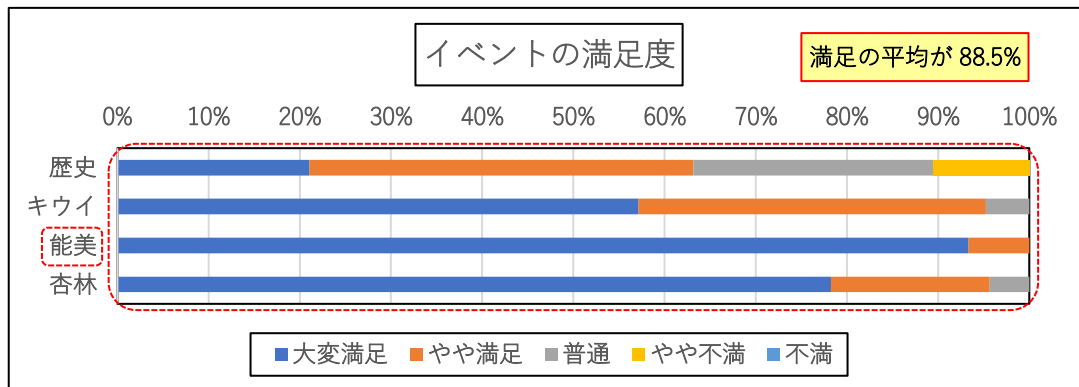
講座 4 (杏林大学 宮野様)

3. 取組の成果

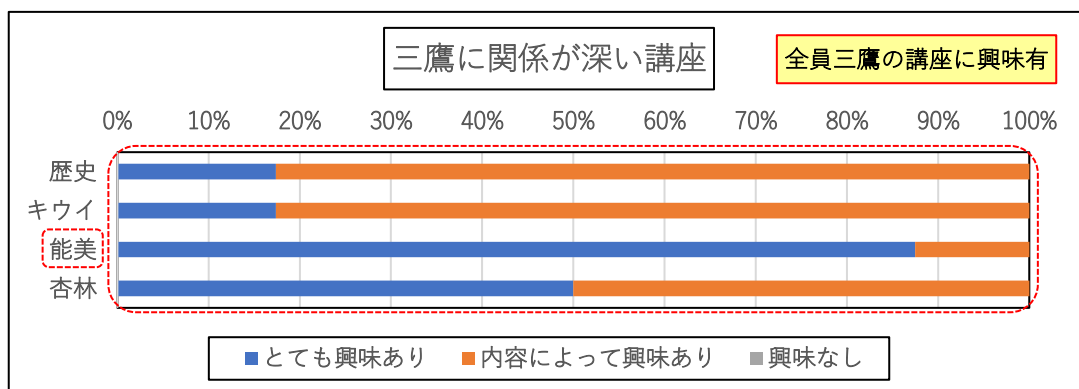
各講座を実施した参加者のアンケート（回答者のみ）から、以下の状況について確認した。



参加者の年代は、募集時の対象年齢は平日開催の能美防災を除き小学生4年生以上を対象に募集したが、全ての講座で40代以上の参加となり 50代以上が90%を超えていた。



「満足度」は、「大変満足」・「やや満足」と答えた人が 平均88.5%で、参加者にとって有益な講座であった。



「三鷹に関係が深い講座」の興味度は、回答者全員が、「とても興味あり」・「内容によって興味あり」の回答で、三鷹の講座に高い関心を示している結果であった。

また、能美防災の工場見学では「満足」と「三鷹への興味」の回答が、いずれも100%で、大人の工場見学としては興味があることが確認された。

自由記述のコメント

イベント	今後期待する講座について(一部要約)
地域の歴史	様々な分野、角度から三鷹について紹介する「三鷹まなむすび講座」の今後に期待します。
三鷹のキウイ	キウイの詳しい説明は理解できました。今後も三鷹で生産している作物の説明をして欲しい。
防災工場見学	三鷹市内の企業・工場にはとても興味があります。今後も様々な三鷹の講座を企画して欲しい。
地域の災害医療	三鷹市の救急時の医療について、医療機関が閉鎖され避難所での対応となる事が参考になった。

今後も「三鷹に関する講座」を期待している内容が多く寄せられた。

これらから、以下の効果が得られたと考えられる。

- ① 講師及び参加者に、学びの資源としての「三鷹の魅力」を再認識して頂いた。
- ② 今回参加した 50 代以上の方が小中学生等に三鷹の魅力を伝えることが期待される。
- ③ 企業・大学等が自ら地域へ積極的に情報発信するきっかけになると考えられる。

4. 次年度以降の取組について

(1) 参加者の年代の状況と、取組の時期について

- ・講演と工場見学などの検討で、**平日の希望が多く講師の依頼と日程調整に苦労した。**
- ・平日の対応では、一般企業の工場見学の企画では小中学生を含む若年層を取り込めなかった。今後は**開始時期が夏休みの期間であれば、平日開催でも小中学生が参加しやすくなる可能性がある。**
- ・今回は 40 代以上の方が延べ約 100 人参加して、アンケートからは、有益な講座と認識されている。今後は、参加した方を通じて多世代で情報を共有できるので、今後も定期的に企画・開催することが望ましい。

(2) 今後の対応について

- ・今回の講座を通じて、地域学習が強く期待されていることが確認できた。三鷹に関係する講座を今後も定期的に開催することで三鷹の魅力を再発見できると考えられる。
- ・今回の講座は生活と結びついた内容だったため身近に感じてもらった。地域の学習に関心を持つ市民の交流を通して今後のまちづくりの基盤にもなり得ると考えられる。
- ・今回はマチコエで提案した考え方をメンバーにて共有していたので対応できたが、自助・共助で継続的に実施する為には、市民の企画を検討する組織作りの課題がある。

(3) 本取組を通じて講演を依頼した講演者とメンバーの感想

- ・各界の講師参加者から多くの質問があり、興味深く聴講していたことで、地域の魅力を学習として発信してゆくことに対して手ごたえを感じたようだった。今後も依頼があればぜひ協力したいとの意向であった。
- ・「広報みたか」の「みんなの掲示板」には QR コードの画像が掲載できないので、QR コード付きで掲載できるような対応を希望したい。

<取り組みの報告を受けた選考委員会からの主な意見（助言等）>

- マチコエでの施策提案を確認するために、短い時間に4回も講座を実施して、すべての講座で三鷹を対象にして参加者にとって有益であることが確認できたことは良かったと思う。メンバーの皆さんも認識していると思うが、小中学生にもイベントに参加してもらえるようなアプローチがあればさらに良くなるのではないか。
- 今後の提案にある様に、三鷹に関する講座を通じて、地域学習については市民からは期待されていることが確認できた。今後もまちづくりの基盤になるために、三鷹に関する講座を今後も定期的を開催することで三鷹の魅力を再発見できると考えられる。